

平成30年度鳥取県中学校教育研究会音楽部会研修会実施レポート

- 1、日 時 平成30年5月28日(月) 13:35~16:50
- 2、会 場 鳥取県立中ノ郷中学校
鳥取県鳥取市浜坂東1丁目22-17
- 3、主 催 鳥取県中学校教育研究会 音楽部会
(平成30年度鳥取県教育センターアドバイザー派遣事業)
- 4、内 容 授業研究への指導講評ならびに講演
「学習指導要領の改訂と豊かな感性を育む音楽科授業」
- 講師 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官

臼井 学 先生

○授業講評

- ・子供を主語とした授業観への転換
- ・深い学びとは

○講義

- ・現行指導要領の成果と課題
- ・「知覚」と「感受」 音楽科の「知識」とは
- ・能力構造の再構築へ
- ・音楽科における「見方・考え方」とは

講義感想

改訂作業に関わった臼井調査官から直接講義を受けることで、新学習要領に対する理解が深まった。新しい授業観や3観点をどのように従来の教育活動と結びつけ、再構築すればよいか分かった。

これまで音楽科の「知識」と「深い学び」が自分の中で結びつかなかったが、覚えれば分かることではなく、学習や体験を経て得たものを音楽科の「知識」とする調査官の話が特に印象に残った。子どもを主語に、主体的・対話的に深く学ぶことのできる授業をつくっていきたい。

中ノ郷中学校澤田教諭による第1学年の歌唱「へ音譜表の読み方を覚えて、混声合唱を楽しもう」の授業提案があり、活発な協議が行われた。臼井調査官からは、「子供を主語とした授業観」を持ち、「知識観の共通理解と能力構造の再整理」を行いながら、「主体的・対話的な深い学び」となる授業への転換が必要であると講評があった。

続く講演では「学習指導要領の改訂と豊かな感性を育む音楽科授業」をテーマに、中教審答申や学習指導要領改訂について分かりやすい解説とともに、「音楽的な見方・考え方」を働かせながら他者との共同し、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや美しさを見いだしたりするなど、思考、判断し、表現する一連の過程を大切に学習の充実を図るための多くの示唆を受け、充実した研修となった。